

第2回 横浜市戸塚柏桜荘指定管理者選定委員会議事録	
日 時	令和8年7月30日（金）13時30分～14時30分
開 催 場 所	戸塚区総合庁舎9階特別会議室
出 席 者	小林委員、高橋委員、寺尾委員、中嶋委員、林委員 区）地域振興課長 堀内、区民利用施設担当係長 田中、野戸、秋山、緑川
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者1人） 審議については非公開（傍聴者退出）
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決 定 事 項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市戸塚柏桜荘指定管理者の候補について 応募団体（1団体）の評点について、最低基準の6割を超えたことを確認し、指定候補者を「社会福祉法人 朋光会」として区長に報告する。
議 事	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立。 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 「社会福祉法人 朋光会」によるプレゼンテーション10分実施。 【質疑応答】 委 員）自主事業とサークル活動について、サークル活動している団体数と自主事業からサークル化していくのは大変かと思うが、立ち上げから年数を重ねた団体の課題や支援内容があれば伺いたい。 団 体）サークルは約70団体ある。自主事業からサークル化する場合は、代表決めなどを施設が主体となって全面的に支援していく。既存サークルの場合は高齢化に伴う人数減少が課題となるため、サークルの人数を増やしたいという要望が施設にくる。施設側はその要望に応えるため、募集チラシ作成から館内の掲示板に貼るまでを手伝う。また、施設が主催となってサークルとのコラボ講座を複数回実施し、1回無料体験や区役所や情報コーナーに配架を行い広く取組みを周知し、サークル加入を促している。 委 員）施設の管理について、現場から見て大変と感じていることはあるか。 団 体）以前とくらべ、高齢者のケア、サービス提供の環境に変化があると感じる。制度面が大きく変わり、労働者の減少、専門職の確保も難しいと実感しているため、変化に追従していくという意味で、どの立場の人もこれまでの経験が必ずしも通用しない苦労を運営上感じている。

	委員) 築 35 年経過の建物であるが、令和 8 年 3 月末時点で修繕積立金 150 万円となっており、今後の修繕計画について伺いたい。 団体) 大規模修繕については、区役所と連携しながら行っていく。修繕積立金は比較的定額の修繕案件を想定しているが、区役所と連携して対応していきたいと考えている。 委員) 職員の常勤 2 名とその他は非常勤で運営しているが、今後、常勤職員を増やすことは考えているのか。 団体) 法人全体の人員配置があるため、今後も常勤職員 2 名で継続することを考えている。 3 審議 事務局より応募資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。高橋委員から応募団体の財務状況が健全である旨報告。 4 審査結果 「社会福祉法人 朋光会」が委員 5 名の合計得点で 438 点／500 点を獲得した。最低基準点 (300 点) を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。
資 料 ・ 特 記 事 項	